2027年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月12日

上場会社名　株式会社ベルテクスコーポレーション　　上場取引所　東
コード番号　5290　URL https://www.vertex-grp.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 山本 譲
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画本部長　(氏名) 平山 哲　TEL 03-3556-2801

半期報告書提出予定日　2026年11月13日
配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：　有
決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2026年4月1日～2026年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	18,013	2.0	1,172	△50.3	1,263	△48.0	1,253	△13.1
2026年3月期中間期	17,653	△2.0	2,361	△3.6	2,428	△4.4	1,442	△0.7

(注) 包括利益　2027年3月期中間期　1,721百万円 (7.3%)　2026年3月期中間期　1,605百万円 (12.7%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	25.46	25.15
2026年3月期中間期	28.94	28.56

(注) 2025年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり中間純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり中間純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期中間期	59,668	43,698	72.8
2026年3月期	66,032	44,432	66.8

(参考) 自己資本　2027年3月期中間期 43,429百万円　2026年3月期 44,123百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	―	―	―	35.00	35.00
2027年3月期	―	―			
2027年3月期(予想)			―	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 2027年 3月期の連結業績予想(2026年 4月 1日～2027年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000	11.8	7,100	0.6	7,250	2.0	4,700	△54.4	95.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 ： 無

新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期中間期	54,906,700 株	2026年3月期	57,706,700 株
② 期末自己株式数	2027年3月期中間期	5,952,700 株	2026年3月期	8,366,140 株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2027年3月期中間期	49,250,531 株	2026年3月期中間期	49,835,456 株

(注) 2025年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（重要な後発事象） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、個人消費や設備投資に持ち直しの動きがみられるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、中東情勢に伴うエネルギー価格の変動や自然災害の影響、金融資本市場の変動など、先行きについては引き続き注視を要する状況にあります。

当社グループが属する業界におきましては、公共投資が底堅く推移する中、激甚化・頻発化する自然災害への対応や、老朽化した社会インフラの維持・更新が重要な課題となっております。また、2026年度から開始された「第１次国土強靭化実施中期計画」において、流域治水対策や上下水道の耐災害性強化、予防保全型メンテナンスへの転換などが掲げられており、防災・減災及びインフラ長寿命化に関する事業機会が見込まれます。

一方、建設技能労働者の不足や高齢化に加え、資材価格・人件費の上昇への対応が引き続き課題となっております。このため、省人化・省力化による生産性の向上や、適正な価格設定を通じた採算の確保が事業運営上一層重要になっていると認識しております。

このような状況の下、当社グループは、第３次中期経営計画を「VERTEX Vision 2034」の実現に向けた１期目と位置付け、「事業ポートフォリオの強化」、「人的資本・R&D・DXの推進強化」、「サステナビリティの推進」を重点施策として、コア事業の再成長と新規事業の育成に取り組んでおります。また、インフラのワンストップメンテナンスを通じて、社会基盤の長寿命化への貢献を進めております。

当中間連結会計期間の業績につきましては、売上高は18,013百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益は1,172百万円（前年同期比50.3%減）、経常利益は1,263百万円（前年同期比48.0%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は1,253百万円（前年同期比13.1%減）となりました。

セグメント業績を示すと、次のとおりであります。

（コンクリート事業）

前年同期と同規模の大型案件の出荷が少なかったことに加え、現場都合や天候による出荷・施工の後ろ倒しが発生し、雨水貯留槽やボックスカルバート（SJ-BOX）などの主力製品の販売が減少いたしました。一方、特殊BOXなど一部製品の販売増加があったものの、主力製品の減少を補うには至りませんでした。

利益面につきましては、大型・高付加価値製品の出荷減少の影響が大きかったことに加え、一部工場における原価上昇や販売管理費の増加なども重なり、売上高の減少率を大きく上回る減益となりました。

この結果、売上高は10,945百万円（前年同期比16.2％減）、セグメント利益は1,257百万円（前年同期比50.1％減）となりました。

（パイル事業）

計画していた大型案件の着工遅延や施工進捗の遅れにより、製品出荷及び工事の売上計上が後ろ倒しとなり、売上高は前年同期を下回る結果となりました。一方、採算を重視した受注活動等による粗利益率の改善及び販売管理費の削減に努めた結果、セグメント利益は前年同期の赤字から黒字へ転換いたしました。

この結果、売上高は1,046百万円（前年同期比14.5％減）、セグメント利益は24百万円(前年同期はセグメント損失20百万円)となりました。

（斜面防災事業）

施工及び製品出荷の売上計上が着実に進んだことにより、前年同期比で増収となりました。一方、利益面につきましては、主力製品である高付加価値製品の落石防護柵の販売が伸び悩んだことなどが影響し、前年同期を下回る結果となりました。

この結果、売上高は1,921百万円（前年同期比7.5％増）、セグメント利益は462百万円（前年同期比13.8％減）となりました。

（セグメント事業）

前第３四半期連結会計期間より株式会社IKKを連結子会社化したことに伴い、「セグメント事業」を報告セグメントとして追加しております。当中間連結会計期間におきましては、一部大型案件の翌期へのずれ込みなどによる影響があったものの、販売管理費の抑制などに努めました。

この結果、売上高は2,342百万円、セグメント損失は１百万円となりました。なお、前年同期は連結対象外であったため、前年同期比較は記載しておりません。

（その他）

その他におきましては、セラミックス事業における半導体製造装置関連及び一般産業機器向け製品の好調な推移に加え、価格改定などによる採算性の向上が寄与いたしました。一部事業において製品販売や開発・納品の遅延があったものの、事業全体では増収増益となりました。

この結果、売上高は1,757百万円（前年同期比10.7％増）とセグメント利益は503百万円（前年同期比30.6％増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当中間連結会計期間末の総資産は59,668百万円となり、前連結会計年度末と比べ6,364百万円の減少となりました。

増減の主なものは、受取手形、売掛金及び契約資産の減少4,102百万円、電子記録債権の減少3,137百万円によるものです。

（負債）

当中間連結会計期間末の総負債は15,969百万円となり、前連結会計年度末と比べ5,630百万円の減少となりました。

増減の主なものは、電子記録債務の減少1,660百万円、短期借入金の減少1,580百万円、未払法人税等の減少907百万円によるものです。

（純資産）

当中間連結会計期間末の純資産は43,698百万円となり、前連結会計年度末と比べ733百万円の減少となりました。

増減の主なものは、利益剰余金の減少1,878百万円によるものです。この結果、自己資本比率は72.8％（前連結会計年度末と比べ6.0ポイント増）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2026年５月14日の「2026年３月期決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,013,370	16,424,063
受取手形、売掛金及び契約資産	9,302,091	5,199,458
電子記録債権	6,856,940	3,719,682
未成工事支出金	384,091	456,446
商品及び製品	6,578,307	9,379,412
仕掛品	1,562,965	1,437,050
原材料及び貯蔵品	892,179	1,030,997
その他	743,672	758,439
貸倒引当金	△12,037	△10,911
流動資産合計	44,321,582	38,394,638
固定資産		
有形固定資産		
土地	9,640,220	9,168,220
その他（純額）	5,822,559	5,347,917
有形固定資産合計	15,462,780	14,516,137
無形固定資産		
のれん	2,771,833	2,633,241
その他	271,565	243,764
無形固定資産合計	3,043,399	2,877,006
投資その他の資産		
投資有価証券	2,188,669	2,856,870
退職給付に係る資産	361,603	406,223
その他	768,663	731,050
貸倒引当金	△114,045	△113,443
投資その他の資産合計	3,204,890	3,880,701
固定資産合計	21,711,069	21,273,845
資産合計	66,032,652	59,668,484

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,286,735	2,618,959
電子記録債務	2,640,427	980,403
短期借入金	4,340,000	2,760,000
1年内返済予定の長期借入金	196,392	112,944
未払法人税等	1,785,792	878,571
賞与引当金	754,910	1,086,132
株主優待引当金	22,810	27,200
受注損失引当金	106,224	98,041
資産除去債務	35,000	－
その他	3,456,869	2,310,595
流動負債合計	16,625,161	10,872,847
固定負債		
長期借入金	647,612	580,800
株式給付引当金	427,496	468,283
退職給付に係る負債	1,229,120	1,274,449
資産除去債務	423,627	423,669
その他	2,247,288	2,349,773
固定負債合計	4,975,145	5,096,976
負債合計	21,600,307	15,969,824
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000,000	3,000,000
資本剰余金	346,917	－
利益剰余金	43,678,514	41,800,177
自己株式	△5,008,838	△3,944,949
株主資本合計	42,016,593	40,855,227
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	825,742	1,293,678
土地再評価差額金	1,281,090	1,281,090
その他の包括利益累計額合計	2,106,833	2,574,768
新株予約権	308,919	268,663
純資産合計	44,432,345	43,698,660
負債純資産合計	66,032,652	59,668,484

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	17,653,407	18,013,312
売上原価	11,660,048	12,514,619
売上総利益	5,993,358	5,498,693
販売費及び一般管理費	3,631,852	4,326,031
営業利益	2,361,506	1,172,661
営業外収益		
受取利息	9,060	6,047
受取配当金	21,477	36,695
貸倒引当金戻入額	19,612	2,103
持分法による投資利益	3,361	－
スクラップ売却益	21,003	47,767
その他	76,835	76,735
営業外収益合計	151,352	169,350
営業外費用		
支払利息	18,674	44,460
持分法による投資損失	－	10,592
損害補償費用	43,508	－
その他	22,553	23,138
営業外費用合計	84,736	78,191
経常利益	2,428,122	1,263,820
特別利益		
固定資産売却益	4,952	786,963
投資有価証券売却益	－	98
特別利益合計	4,952	787,061
特別損失		
固定資産売却損	－	39
固定資産除却損	12,253	3,148
減損損失	24,576	－
工場閉鎖費用	7,355	－
特別損失合計	44,186	3,187
税金等調整前中間純利益	2,388,888	2,047,694
法人税等	946,716	793,780
中間純利益	1,442,172	1,253,914
親会社株主に帰属する中間純利益	1,442,172	1,253,914

中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	1,442,172	1,253,914
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	162,869	467,935
その他の包括利益合計	162,869	467,935
中間包括利益	1,605,041	1,721,849
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	1,605,041	1,721,849

（３）中間連結財務諸表に関する注記事項

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

（自己株式の消却）

当社は、2026年５月28日開催の取締役会決議に基づき、2026年６月11日付で、自己株式2,800,000株の消却を実施しております。この結果、当中間連結会計期間において資本剰余金322,549千円、利益剰余金1,380,484千円及び自己株式1,703,034千円がそれぞれ減少しております。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。